

真宗学会

◇修士論文中間発表

十一月七日(火)

於 視聴覚教室

願生見仏

安藤 文雄

近代大谷派教団の展開

南木 仁

掃去来―来世と現世―

村瀬 光哉

出席者 寺川学会長、松原学長、広瀬、細川各教授、小野講師、外学生六〇名。

◇真宗学会大会

十一月八日(水)

於 図書館講堂

現生正定聚―その核心と外延―

本学助教 本多 弘之

宗教的自己和信仰の確実性

関西大学教授 川崎 幸夫

出席者 寺川学会長、松原学長、広瀬、藤原、幡谷、白井各教授、小野、江上各講師、安富助手、研究室員、外諸先生、学生七〇名。

◇卒業論文中間発表

十二月七日(木) 於 一〇七番教室

鎌倉新仏教と親鸞

山口 住男

親経の意(こころ)

岩田 宣浄

二種深信

河合 清

真宗と妙好人

黒萩 昌

現生不退

新保 宗之

愚

本多 恵実

出席者 寺川学会長、松原学長、広瀬教授、細川教授、白井教授、本多助教、外研究室員四名、学生一五〇名。

◇『親鸞教学』第三十三号発行

歴史の力―入出二門の源泉―

安田 理深

親鸞における学の特質

寺川 俊昭

称名破満

白井 元成

普く諸の衆生と共に―愚禿積

親鸞の名告りの意義―

延塚 知道

信心仏性説をめぐる一考察

石田 慶和

第二十願の内景

曾我 量深

真言と解釈(4)

金子 大栄

仏教学会

◇學術懇談会

サッターティッサ長老を囲んで

十月四日(水) 午後四時〜五時半

於 図書館会議室

講師 British Mahabodhi Society 会長

長・Pali Text Society・常任理事

Ven. Dr. H.Saddhatissa 長老

テーマ The Saddhā Concept in Buddhism

thism

長老に標記テーマで講演していただいた

たあと、活発な質疑応答、懇談が行われた。

出席 渡辺文麿近畿大学助教、学会長

佐々木教悟教授、雲井・佐々木(現)・

桜部・坂東各教授、長崎・福島・三桐

各助教授、小川・舟橋(尚)各専任講師、

田端講師、片野・木村・吉元各助手、

稲垣特研員、院生・学生二十一名。

◇仏教学会例会

十月二十六日(木) 午後四時〜五時半

於 視聴覚教室

研究発表

Anti-śoga Paramarthasara の研究

博士課程三回 平岡 昇

「白黒論」について

本学専任講師 古田 和弘

出席 学会会長佐々木教悟教授ほか教職員、

院生・学生五十余名。

◇仏教学会史蹟踏査

十一月二十八日(火)

湖東永源寺、百濟寺、西明寺、比叡山、横川中堂

参加||佐々木(現)・白土各教授、木村・

吉元各助手、上杉日学振研究員、院生

・学生三十余名。尚山口恵照本学講師

(大阪大学教授)も参加された。

◇『仏教学セミナー』第二十八号発行

目次

初期仏教における縁起説の位置づけ

―三枝教授の批判に答える―

舟橋 一哉

自性清浄心の背景

―真諦訳撰大乘論の場合―

鍵主 良敬

大乘菩薩道における「唯」の思想

小川 一乘

唯識説における法と瑜伽行

小谷信千代

人と業績

ヘルムート・フォン・グラッセナップ博士

―高貴なる魂の学―

佐々木現順

書評

色井秀談・浄土念仏源流考

―大無量寿経とその周辺―

桜部 建

Francis H. Cook: Hara-yen Buddhism

―The Jewel Net of Indra―

原尻 恵真

テララワラダ仏教と大乘仏教

\* \* \*

W・ラーフラ 長崎法潤(訳)

◇仏教学会例会

十二月十三日(水) 三時半

研究発表 於 三〇一教室

中有と中般

博士課程三回 伴戸 昇空

最妙勝定経をめぐる諸問題

博士課程三回 宮田 正純

大乘莊嚴経論の原典考(2)

―菩提品を中心として―

本学専任講師 舟橋 尚哉

出席||佐々木(教)学会長、佐々木(現)・

雲井・桜部各教授、三桐・福島各助教授、

舟橋専任講師、木村・吉元・片野各助手、

他学生三十余名

宗教学会

◇宗教学公開講演会

十二月八日(金) 午後二時半より

於 第一会議室

講題 「現代と鈴木大拙先生」

講師 京都大学名誉教授 西谷啓治氏

出席者||坂本教授、大屋教授、武田助教授、

堀尾専任講師、築山助手ほか学生多数が

聴講した。

本年は鈴木大拙先生の十三回忌に当り、

本学会としてはこの講演会を記念学会とし

て開催した。鈴木先生及び本学会とも縁の

深い西谷啓治先生を講師にお招きして、学

会員はじめ関係者多数が鈴木先生の学恩に

改めて感謝した。

西洋哲学会

倫理学会

◇西洋哲学・倫理学会公開講演会

十二月五日(火) 午後二時半より

於 第一会議室

講題 「個人の自由と社会」

―法による道徳の強制について―

講師 京都教育大学助教授 加茂直樹氏

出席者 訓覇教授、箕浦助教授、鈴木助教

授、池上専任講師、島講師ほか教職員・学生五十余名。

講演後、法と道徳とをめぐる具体的問題についての質疑応答がなされた。

社会学会

教育学会

◇秋期ワークショップ

十一月四日(土) 五日(日)

於 琵琶湖ワニ浜青少年会館

社会学・高橋教授、志水専任講師、教育

学・田中専任講師、佐々木助手が参加して、有意義な研修と交歓の時を持った。

社会学会

◇公開講演会

十一月二十五日(土) 午後一時より

於 視聴覚教室

講師 龍谷大学教授 口羽益生氏

演題 「東南アジア農村社会における価値観」

観

出席 池田・高橋両教授、志水専任講師。

教育学会

◇公開講演会

十一月二十九日(水) 午後二時半

於 二号館二一〇一教室

講師 大谷高校教諭 和気孝恭氏

演題 「現場から」

出席 大竹教授、田中専任講師、土戸専任

講師、佐々木助手

講演終了後、研究室にて和気先生を囲んで懇話会をもった。誠に有意義な会であった。

◇公開映画会(教務課共催)

十二月十三日(水) 午後二時より

於 図書館講堂

前宮城教育大学学長林竹二氏の授業記録

映画「開国」(グループ現代一九七八年作品)を上映。

品

出席 大竹教授、田中専任講師、土戸専任

講師、佐々木助手

国史学会

◇国史学会研究旅行(能登半島)

十月二日(月) 四日(水)

※十月二日(月) 金沢駅前午後一時出発

(加越能バスにて) 千里浜 気多大社

一 妙成寺 剣地、国民宿舍能登剣地荘泊。

※十月三日(水) 能登剣地荘午前八時十

五分出発 阿岸本誓寺 門前総持寺 曾

々木海岸 上時国家 下時国家 穴水明

泉寺 和倉、和倉温泉宝仙閣泊。

※十月四日(火) 宝仙閣午前九時出発 一

七尾城史資料館 七尾城址 氷見大境穴

居跡 朝日貝塚 光久寺 高岡駅解散。

引率 柏原教授、佐々木(孝) 助教授、豊

島助手、木場非常勤講師、参加学生十二

名(大学院生三名含)

◇国史学会創立五十周年記念大会

十二月二日(土) 午前十時三十分

於 新館二二〇一番教室

△研究発表▽

午前一部

一 虚無僧の湯聖的性格について

福島県文化センター歴史資料館

藤田定興氏

一 八海山行者の憑祈禱

長岡市立科学博物館長 鈴木昭英氏

一 教如教団の形成について

―特に越後の國を中心に―

高田農業高校教諭 大場厚順氏

※追悼会(於本学講堂)、記念撮影、

(昼食)

午後之部

一 歴史における直観と反省

大谷高校教諭 高根俊成氏

一 藤沢清浄光寺の歳末別時念仏について

藤沢高校校長 橋 俊道氏

△公開講演▽

一 仏教民俗学の二十五年

本学名誉教授 五来 重氏

一 仏教史研究の流れ

―五十周年を顧みる―

本学名誉教授 藤島達朗氏

出席||柏原教授、堅田教授、佐々木(孝)

助教授、豊島助手、名畑助教授(日仏)、

佐々木(令)助手(日仏)、水野恭一郎

非常勤講師、木場非常勤講師、吉田清氏

(花園大学助教授)、日野西真定氏(高

野山大学講師)ほか学外会員五十三名、

在学会員(大学院生含) 五十八名。

大会終了後、五時三〇分から記念祝賀会

(於、ホリデイ・イン京都)に入り、藤島、

五来両先生、角田文衛先生(平安博物館長)、

研究発表の各位をはじめ、研究室所属の教

職員および学外会員、在学会員多数の出席

のもとに有意義な時間を過し、盛会のうち

に終了した。

日本仏教史学会

◇三回生研究旅行(紀州方面)

十月一日(日)〜二日(月)

一日行程 京都駅、粉河寺、紀伊国分寺趾

・西国分寺趾、岩橋千塚、新和歌浦国民

宿舍泊。

二日行程 和歌山市内、雑賀崎、和歌山城

岡口門、国前宮、国懸神社、下津長保寺、

紀州徳川家廟所、由良興国寺、湯浅広八

幡宮、広村松並木、栖原施無畏寺、国鉄

和歌山駅解散。

参加||名畑助教授、学生十三名。

◇二回生研究旅行

十月十三日(金)〜十五日(日)

一日行程 京都発、大分光西寺、専想寺、

白杵亀亀旅館泊。

二日行程 白杵石仏、安養寺、善法寺、多

福寺、宇佐四日市別院泊。

三日行程 宇佐八幡、富貴寺、真木の大堂、

京都駅解散。

参加||大桑専任講師、学生七名。相馬温、

寄村勝智、橋原正純、二宮俊隆氏来宿。

◇大学院研究旅行

十一月八日(水)〜九日(木)

一日行程 京都駅集合、頼杏坪役宅(運驛

居)、庄原倉田百三記念館、三次ロッジ

泊。

二日行程 照林坊、鳳源寺、高林坊、国鉄

甲立駅解散。

参加||北西教授、佐々木(令)助手、上場

特研員、院生十名。

◇四回生史蹟踏査・卒論指導会

十二月七日(木)午後二時より

詩仙堂を拝観、のち順正で卒論作成につ

いての懇談会をもった。

参加||北西教授、佐々木(令)助手、学生

八名。

国文学会

◇秋季史蹟旅行

とき・十月三日(火)〜四日(水)

一泊二日

見学地・四国高松方面(玉藻公園・志度寺

・屋島・栗林公園その他)

参加者||山本・渡辺教授、有田・井口・石

橋専任講師、仲野非常勤講師、入部助手、

学生十名。

英文学会

◇大谷大学英文学会

十月二十五日(水)

於 二二〇一番教室

△研究発表▽

一 ジェイムズ・ジョイスの『ユリシ  
ズ』について

本学助手 斎藤重信氏

一 ジョン・ドス・パソスの

『U・S・A』について

本学助教授 広瀬英一氏

短期国文科

◇秋季史蹟見学ならびに補導懇談会

\*一回生Aクラス。十一月二日(木)

黄檗・宇治方面へ。若槻専任講師、石橋  
専任講師、沙加戸助手。学生六十四名参  
加。

\*一回生Bクラス。十月三十日(月)

正倉院展見学。河内助教授、石橋専任講  
師、入部文学部助手。学生六十一名参加。

\*二回生(A・B・C・Dクラス)。

十一月十日(金)

薬師寺、唐招提寺・秋篠寺等西の京方面  
へ。渡辺教授・有田専任講師・井口専任  
講師・仲野講師・沙加戸助手。学生二十  
七名参加。